

專門基礎分野

I 人体の構造と機能及び心身の発達

大項目	中項目	小項目
1 解剖学	A 総論	a 定義、目的、分類
	B 骨格系	a 骨の構造と分類
		b 骨吸収と骨形成
		c 関節の構造と分類
		d 各部の骨・靭帯・関節
	C 筋系	a 筋の構造と形態
		b 各部の筋・腱・靭帯
	D 神経系	a 中枢神経系
		b 末梢神経系
	E 脈管系	a 心臓
		b 動脈系
		c 静脈系
		d リンパ系
	F 内臓諸器管	a 消化器
		b 呼吸器
		c 泌尿・生殖器
		d 内分泌腺
	G 感覚器	
	H 体表解剖	a 動脈
		b 神経
c 筋		
d 骨		
e 関節		
I 断層解剖	a 中枢神経系	
	b 筋・骨格・末梢神経系	
	c 内臓諸器官	
J 組織	a 細胞の構造	
	b 発生	
2 生理学	A 総論	a 定義、目的、分類
	B 細胞生理(分子生物学と再生医学の基礎を含む)	
	C 筋	a 筋線維の構造と機能
		b 筋収縮
	D 神経	a 神経線維の構造
b 興奮と伝導		

大項目	中項目	小項目
		c シナプス伝達
		d 反射
		e 受容器－感覚神経伝達
		f 神経－筋接合部の伝達
		g 中枢神経
		h 末梢神経
	E 感覚	a 体性感覚(皮膚感覚、深部感覚)
		b 内臓感覚
		c 視覚
		d 聴覚、平衡感覚
		e 嗅覚・味覚
	F 発声・構音・言語	a 発声器官
		b 言語中枢
	G 運動	a 神経筋運動単位
		b 随意運動
		c 筋緊張
		d 運動における生体の生理的变化
	H 自律神経	a 交感神経系
		b 副交感神経系
	I 呼吸	a 呼吸運動(肺の内圧変化、容積変化を含む)
		b ガス交換とガスの運搬
		c 酸塩基平衡
		d 呼吸中枢
	J 循環(心臓の機能を含む)	a 循環の調節(血液とリンパの循環)
		b 心筋の特性
		c 心臓拍動の自動性と心拍出量
		d 心臓の刺激伝導系
	K 血液・免疫	a 血液の成分
b 血液細胞の生成と分化		
c 血液凝固と線溶現象		
d 免疫機能		
L 咀嚼・嚥下、消化、吸収	a 唾液分泌の機序	
	b 嚥下運動と嚥下反射中枢	
	c 胃内消化(胃液分泌、蠕動運動を含む)	
	d 腸内消化吸收	
	e 肝臓・胆嚢・膵臓の機能	

大項目	中項目	小項目
		f 消化酵素
		g 栄養素と吸収部位
	M 排尿	a 尿の性状
		b 糸球体・尿細管の機能
		c 排尿機構(排尿中枢を含む)
	N 排便	
	O 内分泌・栄養・代謝 (生化学の基礎を含む)	a ホルモンとビタミン
		b 糖、蛋白、脂肪代謝
		c 代謝率(基礎・エネルギー代謝率を含む)
	P 体温調節	a 体温調節中枢
		b 熱の産生と放出の機序
	Q 生殖	a 勃起、射精
		b 排卵、月経、妊娠、出産
	R 老化	
3 運動学	A 総論	a 定義、目的
		b 力学の基礎
		c 運動器の構造と機能(機能解剖を含む)
		d 運動の中樞神経機構
		e 運動とエネルギー代謝
		f 運動と呼吸・循環
	B 四肢と体幹の運動	a 顔面・頭部の運動
		b 上肢帯と上肢の運動
		c 下肢帯と下肢の運動
		d 体幹の運動
		e 呼吸運動
C 運動分析・動作分析		
D 姿勢		
E 歩行		
F 運動制御と運動学習		
4 人間発達学	A 総論	a 定義、目的
		b 発達理論
		c 発達段階と発達課題
		d 発達評価(DDST:Denver Developmental Screening Test 日本版、遠城寺式等)
		e 運動発達(原始姿勢反射を含む)
		f 精神発達

大項目	中項目	小項目
		g 心理社会的発達
	B 各期における発達	a 小児期
		b 青年期
		c 成人期
		d 老年期

II 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

大項目	中項目	小項目	
1 医学概論	A 医学の基本	a 生命倫理	
		b 基本的人権	
		c 医の倫理(患者の権利、医療者の義務)	
	B 健康と病気の概念	a 健康の定義	
		b 病気の定義と分類	
2 臨床医学総論	A 病理学概論	a 病因論(内因・外因を含む)	
		b 病理学的変化(血行障害、進行性・退行性病変、炎症・感染・免疫・アレルギー、腫瘍・新生物、奇形・遺伝を含む)	
		c 生体反応(ホメオスタシス、ストレス)	
	B 病気の診断と治療	a 問診、身体所見、記録	
		b 生化学的検査	
		c 生理学的検査	
		d 画像検査	
		e 薬物療法	
		f 外科療法	
		g 安静、栄養、看護	
	3 リハビリテーション 医学	A 総論	a リハビリテーション医学の定義と歴史
			b リハビリテーション医学の特徴
		B 障害の診断と評価	a 医学的情報(病理・電気・画像診断を含む)の評価
b 機能障害の評価			
c 活動制限(能力低下)の評価			
d 参加制約(社会的不利)の評価			
e 環境因子の評価			
C 機能障害の評価と リハビリテーション		a 運動障害(運動麻痺、筋力低下、持久力低下、筋萎縮、関節拘縮、運動失調、痙縮、固縮を含む)	
		b 基本動作障害	
		c 複合動作障害	
		d 呼吸障害	
		e 循環障害	
		f 代謝・内分泌障害	
		g 発達障害	
		h 構音障害	
	i 視覚障害		

大項目	中項目	小項目
		j 聴覚障害
		k 高次脳機能障害(失語、失認、失行、記憶障害、遂行機能障害等を含む)
		l 疼痛
		m 摂食・嚥下障害
		n 排尿障害
		o 排便障害
		p 心理的問題
	D 活動制限(能力低下)の評価とリハビリテーション	a 日常生活活動の障害
		b 生活関連活動の障害
	E 参加制約(社会的不利)の評価とリハビリテーション	
	F 病態運動学	
	G リハビリテーション治療	a 理学療法
		b 作業療法
		c 言語聴覚療法
		d 義肢・装具療法
		e 運動学習
		f 基本動作練習
		g 複合動作練習
		h バイオフィードバック療法
		i 神経ブロック
		j 心理的アプローチ
		k リハビリテーション機器(杖、車椅子、座位保持装置、環境制御装置を含む)
		l リスク管理
		m 機能的帰結の予測
		n リハビリテーションプログラムの立案
	H 廃用症候群	a 疫学
		b 病理・病態・症候
	c 評価・検査(画像・生理検査を含む)	
	d リハビリテーション	
	e その他の治療	